



CONERGY

発電量 9 メガワット: ナコンラーチャシーマー (タイ)

バンコクから約 250 キロメートル北に位置するナコンラーチャシーマー県のパクトンチャイ郡に、CH. Karnchang Public Company Limited 向けに Conergy および Ensys Co. Ltd によって太陽光発電所が建設されました。

このプロジェクトのために、Conergy は、445,250 平方メートルの発電所予定地に対して構成部品の計画、設計、および供給を行いました。現地提携企業 Ensys Co. Ltd との協力のもと、Conergy は、120 キロメートルにおよぶ Conergy SolarLinea 架台に 64,000 枚以上の薄膜太陽電池モジュールを設置しました。

27 台の Conergy IPG 300C パワーコンディショナーを介して、2012 年 7 月以降 12,778 メガワットアワーのクリーンエネルギーがタイの全国の送電網に供給されています。この太陽光発電所は、約 4,000 世帯に十分な電力を供給し、毎年タイ国内で約 7,000 トンの二酸化炭素が排出されるのを抑制します。

Conergy のアジアおよび中東部門担当社長の Alexander Lenz は次のように述べています。「世界各地において、現在起きている気候の変動の影響で、近年タイでも経験したような自然災害が増加しつつあります。今回の洪水は大きな課題として我々の前に立ちはだかりました。しかし我々はこうした課題を乗り越えてきているので、今後この地で太陽光発電所の建設が自然災害により妨げられることはありません。むしろ持続可能なクリーンエネルギーである太陽光発電は、このような災害よりも説得力のあることを証明しています。その上、安心の包括的な保証契約のおかげで、既存の発電所への出資者は、洪水の被害およびこれによるエネルギー生産の損失から保護されているのです。」

タイ政府は、持続可能なエネルギー普及に向けた活動にすでに取り掛かっており、2020 年までに合計 2,000 メガワットの設備容量に及び太陽光発電の市場規模を実現する計画を立てています。多くのヨーロッパの太陽光発電市場の発展とは異なり、タイのエネルギー関係機関は、太陽光発電に対する現在のサポートを「前向きに」再検討したいと発表しています。将来的には、大規模な太陽光発電所に加えて、個人住宅向けの発電設備でも、政府が保証する固定価格買取制度を受けられるようになる可能性があります。



プロジェクトの概要	
日付	2012 年 6 月
場所	ナコンラーチャシーマー (タイ)
発電量	9 メガワット
年間生産メガワットアワー	年間 13,000 メガワットアワー
太陽電池モジュール	64,000 枚 薄膜太陽電池モジュール
パワーコンディショナー	Conergy IPG 300C セントラルパワーコンディショナー 27台
架台	Conergy SolarLinea
発電所の規模	445,250 平方メートル
二酸化炭素削減量	7,000 トン/年

